

資 料

視覚障害教育の現状と課題

～令和元年度全国盲学校長会調査～

國松利津子
全国盲学校校長会会長
東京都立八王子盲学校長

キーワード 盲学校校長会、全国調査、理療

I. はじめに

全国盲校校長会では、毎年「全国盲学校生徒等調査」を実施しており、調査結果を「視覚障害教育の現状と課題」にまとめている。令和元年6月に発行した58巻（平成30年度年報）より、理療教育に関連する項目を中心に記載する。

II. 結果

1. 学校数

67校1分校だった。設置者は国立1校、市立3校、私立1校、都道府県立62校、分校1校だった。1県に1校の学校は47都道府県のうち37府県（79%）だった。

2. 設置形態

1) 設置形態

高等部単独校が2校、幼・小・中学部校が8校、小・中学部校が1校、盲・聾併置校が3校だった。

2) 設置学部・学科別

幼稚部を設置している学校は54校、小学部を設置している学校は65校、中学部を設置している学校は65校、高等部普通科を設置している学校は55校だった。

3) 職業学科別

理療教育を行っている学校は58校あり、うち本科保健理療科を設置している学校は45校だった。

専攻科理療科は56校（うち2校は鍼灸手技療法科）、専攻科保健理療科を設置している学校は39校だった。

理療研修科は専攻科研修科が1校、専攻科鍼灸手技療法研修科が1校、専攻科研究部理療科が1校だった。

専攻科理学療法科は2校、専修部柔道整復科は1校だった。

本科音楽科を設置しているのは2校、専攻科音楽科を設置しているのは2校だった。

本科生活技能科を設置しているのは1校、本科総合生活科を設置しているのは1校だった。

専攻科生活科は1校、専攻科生活情報科は1校（1年課程）、専攻科普通科は1校（1年課程）だった。

3. スクールバス

スクールバス配置校は34校だった。

4. 名称

「盲学校」のまま名称変更なしは41校、「視覚特別支援学校」、「視覚支援学校」等は26校だった。

5. 障害種

複数の障害種に対応した学校は、視覚・聴覚・肢体・知的・病弱が1校、視覚・聴覚・肢体・知的が1校、視覚・病弱（高普）が1校、視覚・肢体・病弱が1校、視覚・知的が1校、だった。

6. 生徒数

1) 在籍生徒数（総数）

令和元年現在の盲学校の在籍数は、幼稚部189名、小学部571名、中学部484名、高等部本科678名、高等部専攻科694名の総計2,616名だった。（表1）

2) 幼稚部在籍状況

学級数は82学級、幼児数は189人だった。

3) 小学部在籍状況

単一障害の学級数は162学級、児童数287人、重複障害の学級数は130学級、児童数は284人、小学部児童数合計は571人だった。

4) 中学部在籍状況

単一障害は123学級、生徒数は283人、

重複障害は95学級、生徒数は201人、中学部生徒数合計は484人だった。

5) 高等部本科普通科

高等部本科普通科の単一障害は128学級、生徒数は336人、重複障害は106学級、生徒数236人、高等部本科普通科生徒数合計は572人だった。

6) 高等部本科保健医療科

60学級90名だった。

7) 高等部本科音楽科は2学級3名、生活技能科6学級13名だった。

8) 高等部専攻科保健医療科

95学級219名だった。

9) 高等部専攻科理学療法科

147学級392名だった。

10) 高等部専攻科理学療法科

5学級17名だった。

11) 高等部専攻科音楽科

2学級5名だった。

12) 高等部専攻科生活情報科

1学級1名だった。

表1 盲学校在籍者数

	幼稚部	小学部	中学部	高等部本科	高等部専攻科	総計
令和元年度	189	571	484	678	694	2,616
平成30年度	198	577	505	667	784	2,731
平成29年度	196	574	514	664	845	2,793
平成28年度	201	613	490	677	882	2,863
平成27年度	213	618	476	758	936	3,001
平成26年度	221	654	470	816	1,031	3,192
平成25年度	234	668	482	862	1,108	3,354
平成24年度	222	672	519	873	1,170	3,456
平成23年度	232	662	526	862	1,182	3,464
平成22年度	254	660	519	850	1,195	3,478
平成21年度	255	677	497	829	1,209	3,467
平成20年度	265	666	488	857	1,255	3,531
平成19年度	260	656	479	905	1,288	3,588
平成18年度	268	680	446	933	1,362	3,689
平成17年度	263	703	463	959	1,424	3,812
平成16年度	271	667	499	959	1,457	3,853

表2 平成30年度 全国盲学校理療関係在籍者数

部・科→	高等部本科				高等部専攻科							
	保健理療科手技療法科				保健理療科手技療法科				理療科鍼灸手技療法科			
学 年→	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
合計	40	30	20	90	78	73	68	219	141	145	161	447

- 13) 高等部専攻科研修科
3学級6名だった。
- 14) 高等部専攻科鍼灸手技療法科
9学級30名だった。
- 15) 高等部専攻科鍼灸手技療法研修科
1学級0名だった。
- 16) 高等部専攻科普通科
3学級7名だった。
- 17) 高等部専攻科柔道整復科
3学級17名だった。
- 18) 理療関係の学年別在籍者数は表2に示す。

Ⅲ. 結語

令和元年の盲学校在籍生徒数は2,616人と平成30年に比べ115名減少し、特に理療関係学科の減少が目立った¹⁾。理療教育の啓発活動がさらに必要である。さらに、理療教育の質を高め、国家試験対策に力を入れていくことが重要である²⁾と考える。

Ⅳ. 謝辞

盲学校校長会のデータを利用させていただきました。

Ⅴ. 文献

- 1) 國松利津子：視覚障害教育の現状と課題 筑波大学理療科教員養成施設紀要, 4巻1号, 31-33, 2019
- 2) 國松利津子：視覚障害教育の現状と課題～平成30年度年報版～ 全国盲学校長会令和元年6月発行